

米中大学との提携プログラムを提供する大学が世界的に増加傾向（9月11日）

国際教育研究所（Institute of International Education : IIE）は11日、2011年に世界28カ国の高等教育機関245機関の上級管理者を対象に、ジョイント及びダブル学位プログラムの実施状況や関心について調査した結果をまとめた報告書、「グローバルな観点からみたジョイント及びダブル学位プログラム（Joint and Double-Degree Programs in the Global Context）」を公表した。同報告書によると、調査対象機関のうち、デュアルもしくはダブル学位プログラムいずれかを提供する機関は84%であり、ジョイント学位プログラムのみを提供する機関は33%となっている。また、ジョイント及びダブル学位プログラムの実施は、大学キャンパスの国際化を進め、世界的な知名度を高めるための方法として世界的に捉えられるようになってきており、修士課程で最も一般化している他、米国及び中国の大学を提携先として望む声も最も高いことも同調査により明らかとなっている。

なお、本報告書は、

<<http://www.iie.org/en/Research-and-Publications/Publications-and-Reports/IIE-Bookstore/~media/Files/Corporate/Publications/Joint-Double-Degree-Survey-Report-2011.ashx>> からダウンロード可能。

The Chronicle of Higher Education, *Collaborative International Degrees Are on the Rise*
<http://chronicle.com/article/article-content/128924/>